

『MEDTEC JAPAN』でメディカル ネット岡山がチャレンジ賞を受賞しました！

地域経済部 参事官（産学官連携・産業クラスター担当）

TEL 082-224-5760

平成26年4月9日から4月11日の期間に、医療機器の設計・製造に関するアジア最大の展示会である「MEDTEC JAPAN」が開催され、450もの出展者が展示を行い、28,000人を超える来場者がありました。



展示会の様子

「MEDTEC JAPAN」では、新たな事業分野として医療機器分野へ参入しているモノづくり企業のなかで医療機器の製造・設計において優れた成果を上げた企業を表彰し、医療機器産業のさらなる活性化に繋げることを目的として、「MEDTEC大賞」が企画されています。

そしてこのたび、中国地域の「メディカルネット岡山」が、大賞に次ぐチャレンジ賞をめでたく受賞しました。

「MEDTEC大賞」は、大賞1件、チャレンジ賞2件、奨励賞3件で構成されており、受賞企業の製品は、医療機器専門誌「MEDTEC医療機器」や、英文姉妹誌「MEDTECHINSIDER」等において広く広報されます。



表彰式の様子

メディカルネット岡山とは、岡山県を次世代医療機器産業の拠点とすることを目標に、県内のマイクロモノづくりネットワーク参加企業を中心に平成19年8月に結成されたグループです。全国の先進医療機器メーカーからの部品加工受注の獲得を図りながら、県内での医療機器クラスターの一翼を形成することを掲げており、岡山県の基幹産業（農機具、造船、自動車産業等）で培った技術力を活かしながら高度医療機器分野への取組も視野に、活発に活動しています。メディカルネット岡山では、共同受注グループとしての強みを最大に活かしつつ、設計から組立までコストパフォーマンスの高い提案が可能であり、共同開発案件等にも積極的に対応しています。

メディカルネット岡山

<http://www.medicalnet-okayama.jp/>

メディカルネット岡山とは

- 岡山県内のマイクロモノづくりネットワーク参加企業を中心に岡山県を次世代医療機器産業の拠点とすることを目標に平成19年8月に結成されたグループです。
- 全国の先進医療機器メーカーからの部品加工受注の獲得推進を図りながら、県内での医療機器クラスターの一翼を形成することを目指し活動しています。
- メディカルネット岡山では、設計から大規模な機械加工まで自動車産業などで培った技術を活かし、高度医療機器分野への取り組みを積極的に行っております。共同受注グループの強みを活かし、設計から組み立てまでを一括して提案することができます。また、共同開発案件等にも対応できます。

http://z-renkei.jp	
(株)築田エンジニアリング	(株)エヌティエス
	オーニング(株)
	協和ファインテック(株)
	コアテック(株)
	興地設計(株)
	(株)泛源技工所
	(株)田中正製作所
	(株)サンエイコーキ
	(株)大和技工所
	斎藤技工(株)
	中道技工(株)
	(株)デジタルデータコム技研
	中谷興業(株)
	(株)ニコッテック
	(株)中山機工所
	板田工業(株)
	富士ダイス(株)岡山製造所
	深本工業(株)
	マックエンジニアリング(株)

医療機器開発事例のMプロジェクト 脊椎整復フレーム

試作1号機

試作2号機

最終試作機

Mプロジェクトについて

Mプロジェクトは、この脊椎整復フレームを開発するために、メディカルネット岡山のメンバーが集まって取り組んだ開発プロジェクトです。脊椎整復フレームの開発は、瑞穂医科工業㈱と高知大学病院の医師が開発を進めていたところ、ものづくりのノウハウを持っているメディカルネット岡山へ共同開発の打診がありました。

メディカルネット岡山では、コアテック㈱を核に設計が得意な企業や部品加工得意な企業が集まり、さまざまな開発課題を解決するため、アイデアを出し合いながら設計・試作を進めました。現在、プロトタイプ機の完成を機に医療機器として届出も済ませ、臨床での有効性も確認ができました。

Mプロジェクト開発メンバー（7社）

コアテック㈱	設計	 プロジェクトリーダー コアテック㈱ 開発部長 菅本 圭司 氏 岡山コアテック㈱は、この脊椎整復フレームの開発において設計を担当しました。医師が持つ課題をどのように解決して開発を進めるのかを大いに学びました。医師とのコミュニケーションでは、3D-CADを用いて視覚的に説明することが有効でした。
中道技工	機械加工部品	
ニコッテック	機械加工部品	
マックエンジニアリング	吹付加工	
板田中正製作所	組立加工	
サンエイコーキ	機械加工	
中山機工所	機械加工	

脊椎整復フレームについて

高齢者の三大骨折の一つに数えられる脊椎部の「脊椎圧縮骨折」は、症状により「椎体形成術」という手術で治療されることがあります。この手術は、脊椎アライメント（脊椎部の姿勢）が手術の成否を決める重要な要因となります。今回、開発した脊椎整復フレームでは、手術中にレントゲン透視画像を見ながら椎体を適切な位置に調整し、正確な手術を行うことができるようになります。

脊椎の圧縮骨折
 椎体形成術
 椎体形成術による椎体の圧縮骨折の修復
 椎体形成術による椎体の圧縮骨折の修復

脊椎整復フレーム特許査定済み【出願番号】特願2011-38148(P2011-38148)

このたびチャレンジ賞を受賞した共同受注製品は、高齢者の三大骨折の一つに数えられる背骨部の「脊椎圧迫骨折」に着目した「脊椎圧迫骨折手術で用いる脊椎アライメントを最適化するフレーム」（以下、脊椎整復フレーム）です。

「脊椎圧迫骨折」は、症状により「椎体形成術」という手術で治療されることがあり、この手術では、脊柱アライメント（背骨部の姿勢）が手術の成否を決める重要な要因となります。今回、開発した脊椎整復フレームでは、手術中にレントゲン透視画像を見ながら椎体を適切な位置に調整し、正確な手術をすることができるようになります。

「本製品は、医療現場のニーズを踏まえて開発できたもの。これからも新たな分野に挑戦していきたい」とはメディカルネット副会長の言葉です。



中国経済産業局では、昨年度から「医の芽ネット」において医療機器市場へ参入した企業、又は参入を検討している企業を支援しており、メディカルネット岡山も医の芽ネット会員のメンバーです。

メディカルネット岡山に続き、「MEDTEC JAPAN」のような大規模な展示会で中国地域の企業が表彰されるよう、医の芽ネットにおいても積極的に支援していきます。

■ **メディカルネット岡山のホームページ】**

<http://www.medicalnet-okayama.jp/>

■ **医の芽ネットホームページ**

<http://www.crrc.or.jp/medical/>